

# 中小企業動向調査

この調査は富山県内企業413社を対象に実施し、294社より回答があり、その結果をまとめたものである。

企業の調査資料として、平成24年7月～9月の実績、平成24年10月～12月の見込み、平成25年1月～3月の先行き見通しを集約した概要である。なお、季節調整は行っていない。

調査時期：平成24年9月下旬

	調査対象企業数	有効回答企業数	有効回答率
製 造 業	183	131	71.6%
非 製 造 業	230	163	70.9%
計	413	294	71.2%

日銀が11月12日に公表した、北陸の金融経済月報（2012年11月）によると、「北陸の景気は、弱含みとなっている。最終需要をみると、個人消費は弱めの動きとなっている。住宅投資は下げ止まりの兆しが窺われている。設備投資は持ち直しているほか、公共投資は増加している。

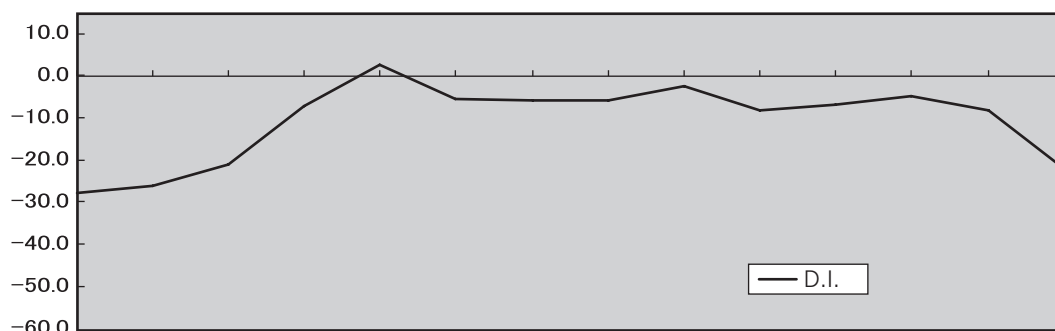
先行きについては、当面横ばい圏内で推移するとみられるが海外経済が減速した状態から脱していくことなどを背景に、穏やかな回復経路に復していくとみられる。

金融面をみると、預金は個人を中心に増加している。貸出は地方公共団体向けを中心に増加している。」としている。

## I. 企業概況

企業概況の推移……（全産業）

期別 種別	（%）													
	21年				22年				23年				24年	
	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
良 い	7.9	11.0	11.1	16.2	20.8	17.5	19.4	15.4	17.9	15.1	14.3	14.7	12.0	6.8
普 通	56.4	52.0	56.8	60.5	61.1	59.5	55.4	63.2	61.8	61.6	64.6	65.8	67.8	64.0
悪 い	35.6	37.0	32.1	23.3	18.1	23.0	25.2	21.4	20.3	23.3	21.1	19.5	20.2	29.1
D . I .	-27.7	-26.0	-21.0	-7.1	2.7	-5.5	-5.8	-6.0	-2.4	-8.2	-6.8	-4.8	-8.2	-22.3

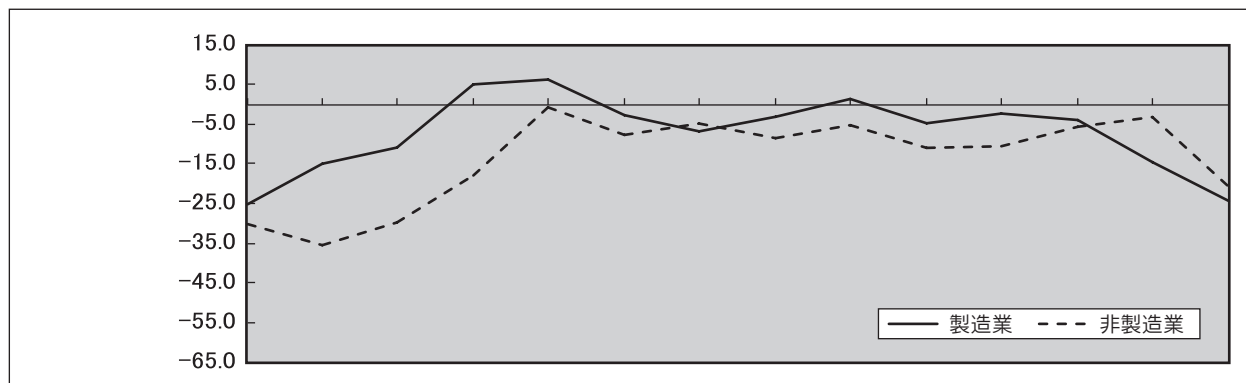


企業概況の推移……（うち製造業のみ）

		(%)													見込	予測
種別	期別	22 年				23 年				24 年				25年		
	21年	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
良	い	10.0	20.5	17.7	24.3	27.0	20.3	20.8	17.1	21.6	19.4	16.2	15.3	10.7	8.4	
普	通	55.0	43.8	53.7	56.4	52.5	56.5	51.5	62.5	58.2	56.6	65.4	65.6	64.1	58.8	
悪	い	35.0	35.6	28.6	19.3	20.6	23.2	27.7	20.4	20.1	24.0	18.5	19.1	25.2	32.8	
D . I .		-25.0	-15.1	-10.9	5.0	6.4	-2.9	-6.9	-3.3	1.5	-4.7	-2.3	-3.8	-14.5	-24.4	

企業概況の推移……（うち非製造業のみ）

		(%)													見込	予測
種別	期別	22 年				23 年				24 年				25年		
	21年	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
良	い	6.1	2.9	5.4	9.0	15.3	15.0	18.2	13.9	15.0	11.7	12.8	14.3	13.0	5.6	
普	通	57.7	59.0	59.5	64.1	68.8	62.1	58.7	63.9	64.7	65.6	64.0	65.8	70.8	68.3	
悪	い	36.2	38.2	35.1	26.9	15.9	22.9	23.1	22.3	20.4	22.7	23.2	19.9	16.1	26.1	
D . I .		-30.1	-35.3	-29.8	-17.9	-0.6	-7.8	-5.0	-8.4	-5.4	-11.0	-10.4	-5.6	-3.1	-20.5	



- (1) こうした北陸の状況の中で富山県内の中小企業の業況を全産業で見ると、業況判断指数D.I.「良い-悪い」の24年7~9月期実績は▲4.8と前期比2.0ポイント悪化した。先行きについて、24年10~12月期のD.I.は▲8.2、25年1~3月期のD.I.は▲22.3と悪化予想となっている。前回調査時の7~9月予想は、▲10.9であり、予想より改善した回答となった。
- (2) 業況判断指数D.I.の24年7~9月期を製造業と非製造業に分けてみると、製造業は前期より1.5ポイント悪化した。非製造業は前期より4.8ポイント改善した。いずれもマイナスであり、悪いとの回答が高い状態となっている。先行きについて製造業、非製造業とも悪化予想となっている。

## II. 売上高状況

売上高状況

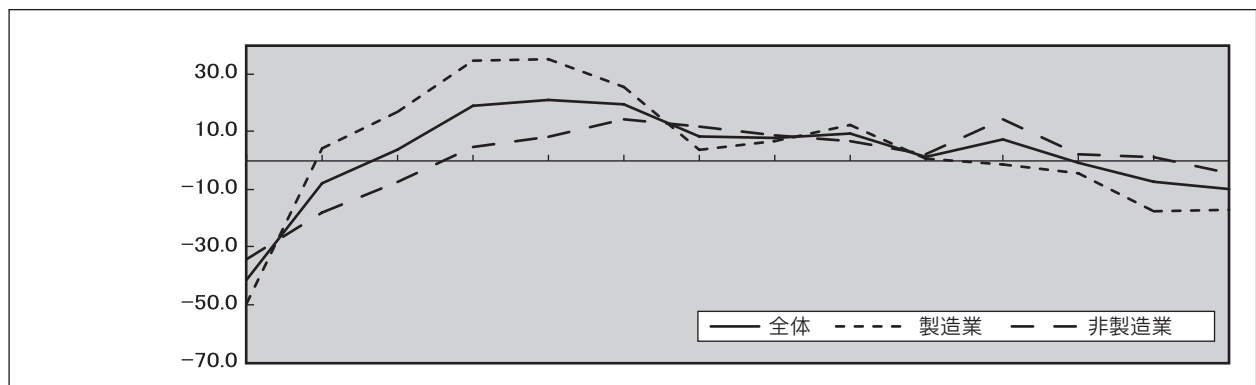
		(%)												見込	予測			
種別	期別	21年				22年				23年				24年				25年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		14.5	28.0	34.5	43.3	32.8	39.4	35.8	33.9	36.5	30.0	33.5	26.3	18.2	14.8			
横ばい		29.9	36.2	34.8	30.2	35.5	40.8	36.6	39.8	35.9	41.4	40.3	46.4	56.4	60.5			
減少		55.6	35.8	30.7	25.5	21.7	19.9	27.7	26.3	27.5	28.6	26.3	27.3	25.4	24.7			
D.I.		-41.1	-7.9	3.8	18.8	21.1	19.5	8.0	7.5	9.1	1.3	7.2	-1.0	-7.2	-9.9			

売上高状況（うち製造業のみ）

		(%)												見込	予測			
種別	期別	21年				22年				23年				24年				25年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		13.4	35.6	43.9	54.2	54.2	44.6	34.0	33.6	36.2	27.9	28.0	24.4	14.6	12.4			
横ばい		23.9	32.9	29.1	26.1	26.8	36.0	35.9	39.5	39.9	45.0	42.6	46.6	53.1	58.1			
減少		62.7	31.5	27.0	19.7	19.0	19.4	30.1	27.0	23.9	27.1	29.4	29.0	32.3	29.5			
D.I.		-49.3	4.1	16.9	34.5	35.2	25.2	3.9	6.6	12.3	0.8	-1.6	-4.6	-17.7	-17.1			

売上高状況（うち非製造業のみ）

		(%)												見込	予測			
種別	期別	21年				22年				23年				24年				25年
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
増加		15.4	21.5	26.2	35.3	32.5	34.6	37.2	34.1	36.8	31.5	37.8	27.8	21.1	16.7			
横ばい		35.2	39.0	39.9	34.0	43.3	45.1	37.2	40.1	32.7	38.7	38.4	46.3	59.0	62.3			
減少		49.4	39.5	33.9	30.8	24.1	20.3	25.6	25.8	30.4	29.8	23.8	25.9	19.9	21.0			
D.I.		-34.0	-18.0	-7.7	4.5	8.3	14.4	11.6	8.4	6.4	1.8	14.0	1.9	1.2	-4.3			



- (1) 売上高は、前年同期比較での増減について回答を受けている項目である。今回調査では、D.I.は▲0.1となり、前期より8.2ポイント悪化の回答となった。先行きについては、今期より悪化の予想となっている。
- (2) 売上高状況D.I.を製造業と非製造業で分けると、製造業は前期比2.0ポイント悪化、非製造業は12.1ポイント悪化となっている。  
先行きについても、製造業、非製造業とも悪化予想となっている。

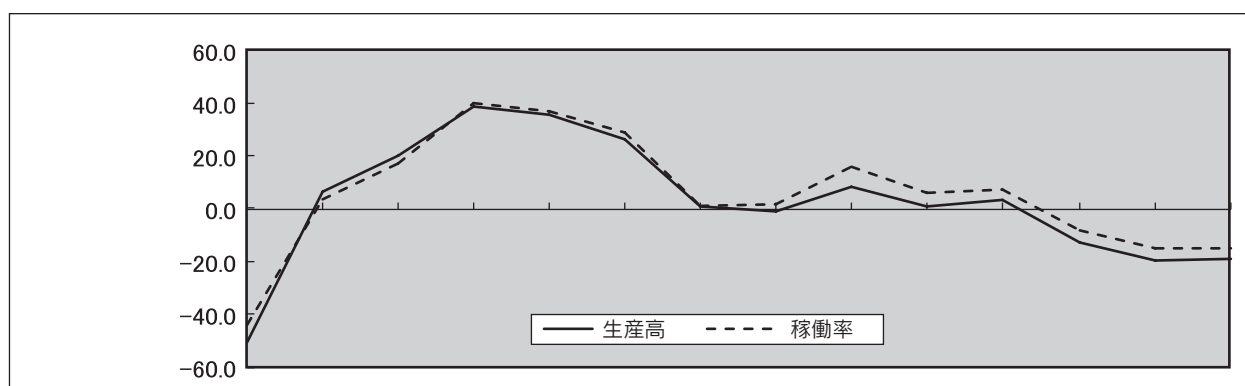
### Ⅲ. 生産高・稼働率状況

生産高状況（製造業のみ）

		(%)												見込	予測
期別 種別	21年	22年				23年				24年				25年	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	
20%以上増加	2.2	12.9	19.4	19.9	20.0	16.9	11.9	6.7	6.5	6.1	5.6	4.7	0.8	0.8	
20%未満増加	9.5	24.3	26.6	35.5	33.3	28.7	19.8	21.5	28.1	22.1	25.0	17.2	11.1	9.5	
横ばい状況	26.3	32.1	28.1	28.4	28.9	35.3	37.6	43.0	39.6	44.3	41.9	43.8	56.3	60.3	
20%未満減少	38.0	22.1	18.7	15.6	15.6	14.7	21.8	24.8	22.3	25.2	22.6	28.1	23.8	20.6	
20%以上減少	24.1	8.6	7.2	0.7	2.2	4.4	8.9	4.0	3.6	2.3	4.8	6.3	7.9	8.7	
D . I .	-50.4	6.4	20.1	39.0	35.6	26.5	1.0	-0.7	8.6	0.8	3.2	-12.5	-19.8	-19.0	

稼働率（製造業のみ）

		(%)												見込	予測
期別 種別	21年	22年				23年				24年				25年	
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	
上昇	2.9	13.6	21.4	22.3	19.4	19.1	12.1	5.6	7.4	6.4	4.9	5.7	0.8	0.8	
やや上昇	10.2	22.9	22.1	31.7	34.3	25.0	19.2	20.1	29.6	21.6	25.2	13.9	10.7	13.3	
横ばい	29.9	30.7	30.0	32.4	29.1	40.4	38.4	50.0	41.5	49.6	47.2	52.5	62.0	56.7	
やや下降	38.0	22.9	18.6	11.5	15.7	11.8	20.2	19.4	18.5	19.2	19.5	22.1	19.0	21.7	
下降	19.0	10.0	7.9	2.2	1.5	3.7	10.1	4.9	3.0	3.2	3.3	5.7	7.4	7.5	
D . I .	-43.8	3.6	17.1	40.3	36.6	28.7	1.0	1.4	15.6	5.6	7.3	-8.2	-14.9	-15.0	



(1) 生産高・稼働率ともに売上高と同様、前年同期比での増減について回答を受けている項目である。製造業の生産高状況D.I.は▲12.5となり、前期比15.7ポイント悪化し、マイナスポイントとなった。

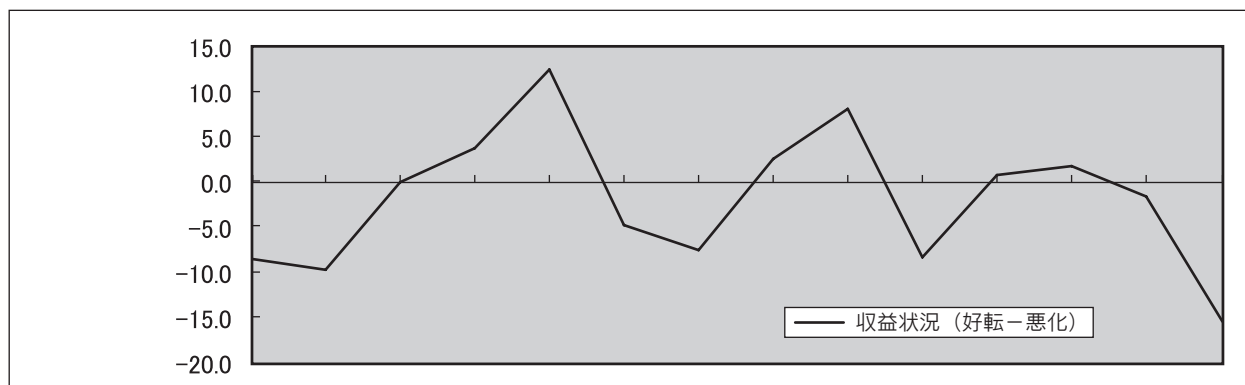
先行きについても、悪化予想となっており、減少の回答が高くマイナスポイントとなっている。

(2) 稼働率についても、売上高、生産高同様に今期は前期比悪化の回答となっている。先行きについても、悪化予想となっている。

## IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	(%)														見込	予測
	21年	22年				23年				24年				25年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
好転	17.1	19.0	21.1	20.9	27.3	20.2	19.8	24.8	26.4	17.0	19.5	19.7	15.6	8.9		
横ばい	57.2	52.3	57.7	61.8	57.9	54.8	52.7	53.0	55.3	57.7	61.6	62.2	67.0	66.9		
悪化	25.7	28.7	21.1	17.2	14.8	25.0	27.5	22.3	18.3	25.3	18.9	18.0	17.3	24.2		
D.I.	-8.6	-9.7	0.0	3.7	12.5	-4.8	-7.7	2.5	8.0	-8.3	0.7	1.7	-1.7	-15.4		



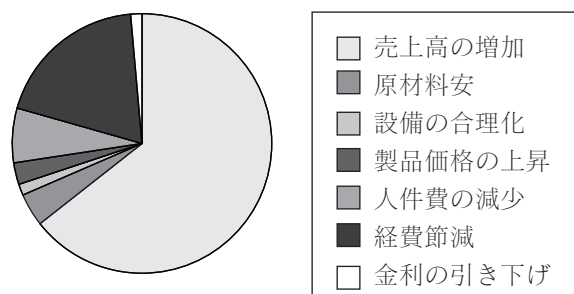
好転理由

期別 種別	(%)														見込	予測
	21年	22年				23年				24年				25年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
売上高の増加	54.2	63.3	62.5	64.4	73.6	69.2	60.0	76.0	73.5	66.2	67.6	64.4	62.7	60.6		
原材料安	11.1	5.1	4.5	1.1	1.8	1.3	5.0	3.0	4.1	1.5	9.9	4.1	8.5	3.0		
設備の合理化	2.8	3.8	2.3	5.6	0.9	5.1	6.7	2.0	1.0	0.0	0.0	1.4	3.4	6.1		
製品価格の上昇	0.0	2.5	5.7	2.2	3.6	5.1	6.7	2.0	2.0	2.9	2.8	2.7	1.7	3.0		
人件費の減少	12.5	10.1	9.1	7.8	4.5	2.6	5.0	3.0	3.1	4.4	2.8	6.8	6.8	6.1		
経費節減	19.4	15.2	15.9	17.8	15.5	16.7	16.7	14.0	16.3	22.1	16.9	19.2	16.9	21.2		
金利の引き下げ	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	0.0	1.4	0.0	0.0		

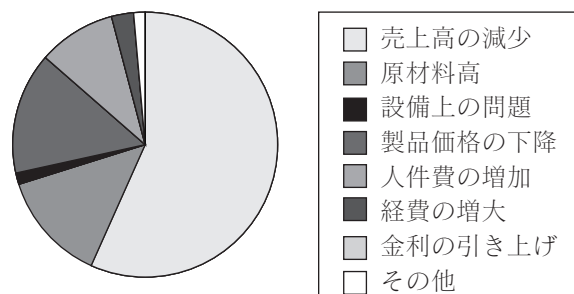
悪化理由

期別 種別	(%)														見込	予測
	21年	22年				23年				24年				25年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
売上高の減少	68.1	65.2	56.1	56.4	65.7	55.4	53.7	56.1	50.0	55.6	59.2	56.8	63.8	68.1		
原材料高	4.2	5.0	13.2	7.7	8.6	13.4	14.7	11.2	18.3	14.8	17.1	13.5	13.0	8.5		
設備上の問題	1.7	1.4	0.9	1.3	0.0	3.6	1.1	2.0	1.2	0.9	0.0	1.4	2.9	1.1		
製品価格の下降	14.3	13.5	14.9	16.7	14.3	8.0	10.5	9.2	11.0	8.3	6.6	14.9	14.5	11.7		
経費の増大	5.0	5.0	5.3	6.4	1.4	7.1	6.3	12.2	8.5	11.1	5.3	9.5	2.9	7.4		
人件費の増加	3.4	2.8	7.0	6.4	7.1	4.5	6.3	5.1	4.9	2.8	6.6	2.7	1.4	1.1		
金利の引き上げ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	1.1	1.0	0.0	0.9	0.0	1.4	1.4	0.0		
その他	3.4	7.1	2.6	5.1	2.9	5.4	6.3	3.1	6.1	5.6	5.3	0.0	0.0	2.1		

好転理由



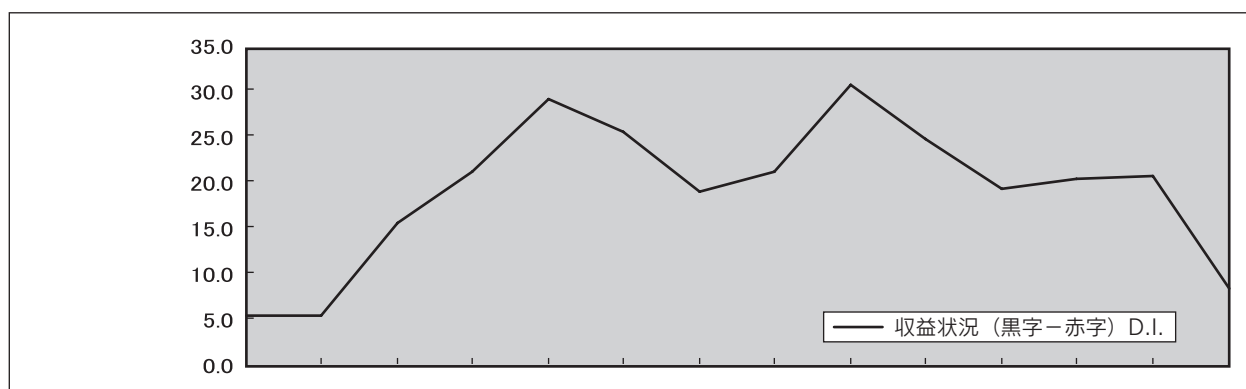
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、前期比1.0ポイント改善し、1.7となった。収益は、4～6月期より好転してきている。しかし、先行きについては、悪化予想となり、悪化との回答が高くなっている。
- (2) 今期収益が好転した理由は、前回調査に比べ、「人件費減少」、「経費節減」とするポイントが増加した。「売上高の増加」「原材料安」が前期よりポイントは減少となっている。
- (3) 収益が悪化した理由では、「製品価格の下落」、「経費の増大」とするポイントが増加している。  
先行きについては、「売上高の減少」とするポイントが11.3ポイント増加している。  
「原材料高」とするポイントは減少を予想している。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別	(%)													
		21年				22年				23年				24年	25年
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
黒字		27.0	28.5	36.0	41.7	43.2	43.6	40.8	43.4	47.4	44.3	41.0	39.1	35.8	27.4
収支トントン		51.3	48.3	43.3	37.6	42.5	38.1	37.2	34.2	35.9	36.0	36.9	41.9	49.0	53.1
償却後赤字		21.7	23.2	20.7	20.7	14.3	18.3	22.0	22.5	16.8	19.7	22.1	19.0	15.3	19.4
D . I .		5.3	5.3	15.3	21.0	28.9	25.3	18.8	20.9	30.6	24.6	19.0	20.1	20.5	8.0



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は20.1となり、前期比1.1ポイント改善となった。先行きの25年1～3月期には、今期より悪化する予想となっている。

## V. 製品在庫水準

製品在庫水準

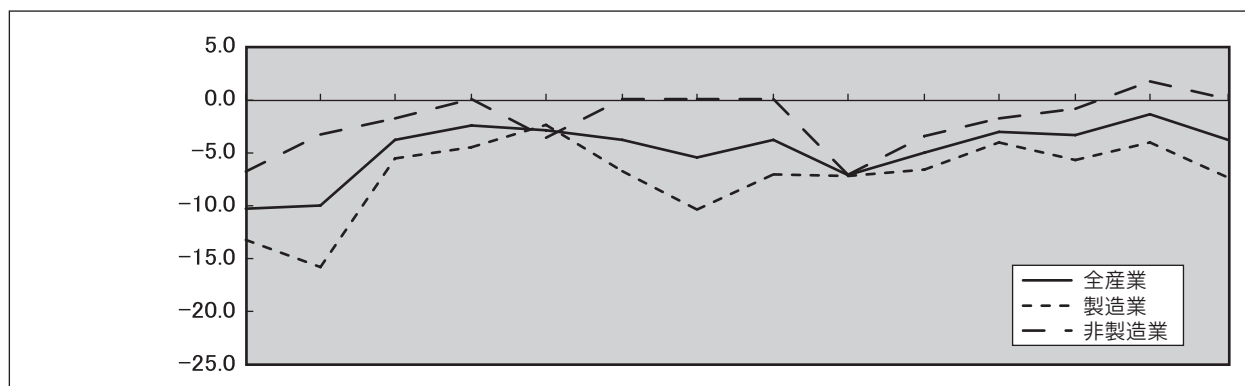
		(%)														見込	予測
期別 種別	21年	22年				23年				24年				25年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
不足	3.1	1.1	4.5	4.9	6.2	4.6	7.1	4.5	1.3	3.8	3.9	2.5	2.5	2.1			
適正	83.5	87.7	87.2	87.8	84.8	87.1	80.2	87.1	90.4	87.4	89.3	91.5	93.6	91.9			
過剰	13.3	11.1	8.3	7.3	9.1	8.3	12.6	8.3	8.3	8.8	6.9	5.9	3.8	6.0			
D.I.	-10.2	-10.0	-3.8	-2.4	-2.9	-3.8	-5.5	-3.8	-7.1	-5.0	-3.0	-3.4	-1.3	-3.8			

製品在庫水準（うち製造業のみ）

		(%)														見込	予測
期別 種別	21年	22年				23年				24年				25年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
不足	3.7	0.0	5.5	5.2	7.8	4.5	6.3	4.3	1.6	4.1	2.5	1.6	2.5	0.8			
適正	79.3	84.3	83.4	85.1	82.2	84.1	77.1	84.4	89.6	85.1	91.0	91.0	91.0	90.9			
過剰	17.0	15.7	11.0	9.7	10.1	11.4	16.7	11.3	8.8	10.7	6.6	7.4	6.6	8.3			
D.I.	-13.3	-15.7	-5.5	-4.5	-2.3	-6.8	-10.4	-7.1	-7.2	-6.6	-4.1	-5.7	-4.1	-7.4			

製品在庫水準（うち非製造業のみ）

		(%)														見込	予測
期別 種別	21年	22年				23年				24年				25年			
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月			
不足	2.5	2.5	3.3	4.5	4.4	4.6	8.1	4.9	0.9	3.4	5.4	3.5	2.6	3.5			
適正	88.3	91.7	91.7	91.0	87.7	90.7	83.7	90.2	91.3	89.7	87.4	92.1	96.5	93.0			
過剰	9.2	5.8	5.0	4.5	7.9	4.6	8.1	4.9	7.8	6.8	7.2	4.4	0.9	3.5			
D.I.	-6.7	-3.3	-1.7	0.0	-3.5	0.0	0.0	0.0	-7.0	-3.4	-1.8	-0.9	1.8	0.0			



(1) 全産業の製品在庫水準「不足-過剰」D.I.は、24年7~9月期は▲3.4となり、前期比0.4ポイント悪化となった。在庫過剰が高い状況である。

先行きについても、25年1~3月期は▲3.8であり、在庫過剰が続く予想である。

(2) 業種別では、製造業の在庫過剰が高く▲5.7ポイントとなった。前期比1.6ポイント悪化している。非製造業も過剰の回答であるが、前期比0.9ポイント改善している。先行きについては、製造業はまだ、在庫過剰の予想であり、非製造業は改善する予想となっている。

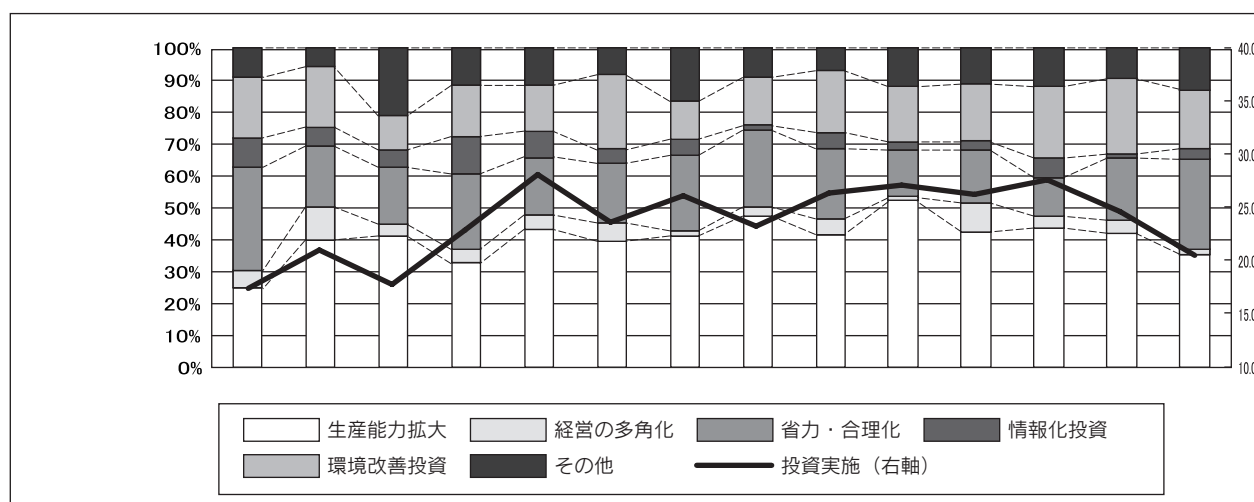
## VI. 設備投資動向

設備投資の有無

		(%)													見込	予測
期別 種別	21年	22年				23年				24年				25年		
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
投資実施	17.4	21.0	17.7	22.8	28.1	23.6	26.1	23.2	26.3	27.0	26.2	27.6	24.5	20.4		
投資せず	82.6	79.0	82.3	77.2	71.9	76.4	73.9	76.8	73.7	73.0	73.8	72.4	75.5	79.6		

設備投資の目的（実施先について）

	(%)													
生産能力拡大	24.5	39.7	41.1	32.4	42.9	39.1	40.7	47.3	41.5	51.9	42.3	43.2	41.7	35.0
経営の多角化	5.7	10.3	3.6	4.4	4.8	5.8	1.7	2.7	4.9	1.2	9.0	3.7	4.2	1.7
省力・合理化	32.1	19.1	17.9	23.5	17.9	18.8	23.7	24.3	22.0	14.8	16.7	12.3	19.4	28.3
情報化投資	9.4	5.9	5.4	11.8	8.3	4.3	5.1	1.4	4.9	2.5	2.6	6.2	1.4	3.3
環境改善投資	18.9	19.1	10.7	16.2	14.3	23.2	11.9	14.9	19.5	17.3	17.9	22.2	23.6	18.3
その他	9.4	5.9	21.4	11.8	11.9	8.7	16.9	9.5	7.3	12.3	11.5	12.3	9.7	13.3



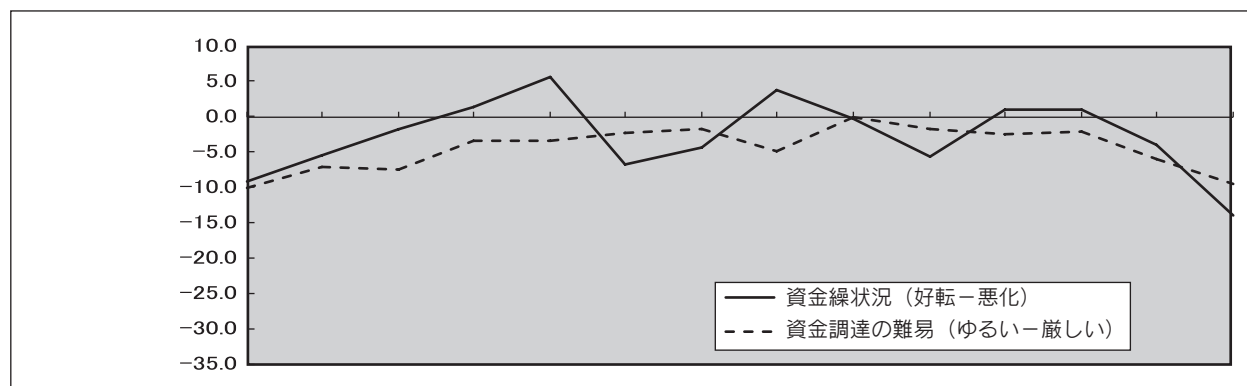
- (1) 今回調査では、設備投資を実施した企業は全産業の27.6%と、前期比1.4ポイント増加した。先行きについては、減少傾向となっている。実施の目的別では、「生産能力拡大」が最も高いポイントであり、「環境改善設備」「省力・合理化」の順になっている。
- (2) 業種別の、製造業では「金属製品製造」「プラスチック」が前期比増加している。非製造業では、「鋼材建材販売」「宿泊業」「卸売業」のポイントが増加した。先行きについては、「金属製品製造」「電子部品製造」「プラスチック」が設備をする予定のポイントが高くなっている。



## VII. 資金繰り状況

資金繰り状況（好転－悪化）

		(%)													見込	予測
種別	期別	22 年				23 年				24 年				25年		
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
好転		5.9	9.0	10.1	9.8	13.7	5.5	11.5	10.0	9.9	7.0	11.8	10.9	6.1	3.8	
変わらず		79.1	76.3	77.9	81.8	78.3	82.2	72.6	83.8	79.8	80.3	77.4	79.3	83.7	78.5	
悪化		15.0	14.6	12.0	8.4	8.0	12.3	15.9	6.2	10.3	12.7	10.8	9.9	10.2	17.7	
D . I .		-9.2	-5.6	-1.9	1.3	5.7	-6.8	-4.4	3.7	-0.3	-5.7	1.0	1.0	-4.1	-13.9	



資金調達の難易（ゆるい－厳しい）

		(%)													見込	予測
種別	期別	22 年				23 年				24 年				25年		
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
ゆるい		7.3	9.7	10.2	9.6	9.9	12.1	11.8	10.1	12.6	12.5	12.3	10.8	9.9	8.9	
厳しくない		75.4	73.3	72.1	77.3	76.9	73.4	74.7	74.8	74.8	73.3	73.0	76.3	74.2	72.6	
厳しい		17.3	17.0	17.8	13.1	13.3	14.5	13.6	15.1	12.6	14.2	14.7	12.9	15.9	18.5	
D . I .		-10.0	-7.2	-7.6	-3.4	-3.4	-2.4	-1.8	-5.0	0.0	-1.7	-2.5	-2.1	-6.0	-9.6	

(1) 資金繰り状況D.I.「好転－悪化」実績は、1.0と前期と同じポイントとなった。資金繰り状況は、前期からプラスポイントとなり好転とするポイントが高くなった。

先行きについては、25年1～3月期は▲13.9と悪化予想となっている。

(2) 資金調達の難易D.I.「ゆるい－厳しい」では、▲2.1となり、前期より0.4ポイント改善したが、マイナスポイントであり、厳しいとの回答が高い。

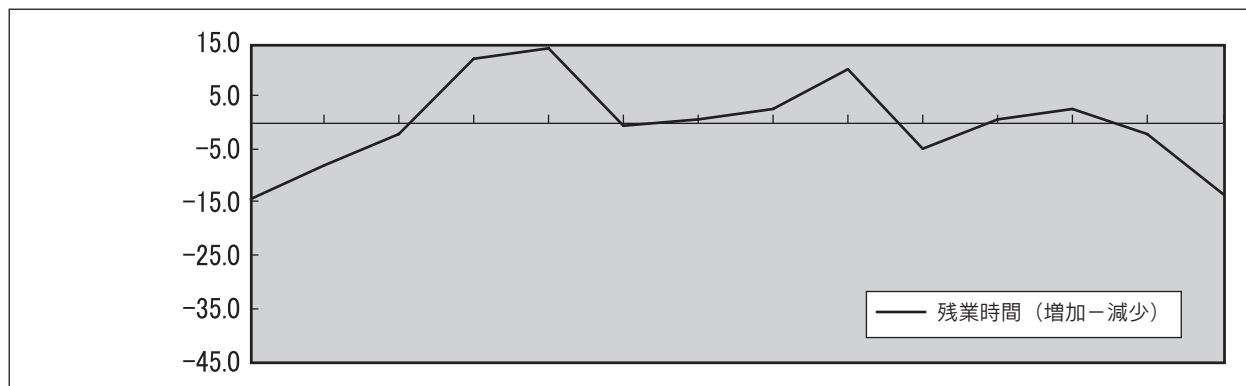
先行きについても、25年1～3月期は▲9.6であり、今期よりも厳しいとのポイントが高くなる予想。

厳しいとのポイントが高い主な業種は、「繊維」「窯業土石」「木工建具」「土木業」「不動産業」となっている。

## VIII. 労務事情

残業時間

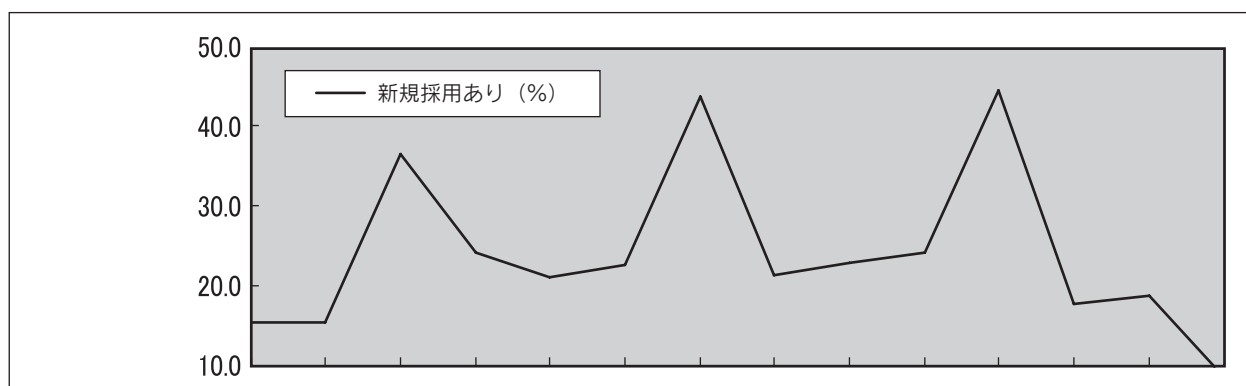
		(%)													見込	予測
期別 種別	21年	22年				23年				24年				25年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
増加	12.1	15.4	19.0	22.4	24.6	17.4	20.0	16.9	20.1	14.8	12.7	13.3	10.8	5.8		
横ばい	61.6	61.4	60.0	67.2	64.8	64.9	60.5	68.5	69.7	65.5	75.4	76.0	76.2	75.1		
減少	26.3	23.2	21.0	10.3	10.6	17.7	19.5	14.6	10.2	19.7	11.9	10.6	13.1	19.1		
D.I.	-14.2	-7.8	-2.1	12.1	14.1	-0.4	0.5	2.4	9.9	-4.9	0.8	2.7	-2.3	-13.3		



- (1) 残業時間D.I.は24年7~9月期2.7となり、前期比1.9ポイント増加した。残業時間は、前期よりプラスポイントとなり、増加したとの回答が高くなっている。  
先行きについては、マイナスポイントとなっており、減少していくとみられる。

新規採用実績(採用あり：%) ※常用・臨時合算

		(%)													見込	予測
期別 種別	21年	22年				23年				24年				25年		
	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月	4~ 6月	7~ 9月	10~ 12月	1~ 3月		
全産業	15.2	15.3	36.5	24.1	20.9	22.6	43.7	21.3	22.9	24.0	44.6	17.7	18.7	8.5		
(うち製造業)	12.9	15.6	34.5	31.9	22.5	25.9	42.2	17.6	18.6	20.0	48.9	17.6	13.0	6.9		
(うち非製造業)	17.2	15.1	38.3	17.0	19.5	19.6	45.0	24.6	26.5	27.1	41.3	17.8	23.3	9.8		

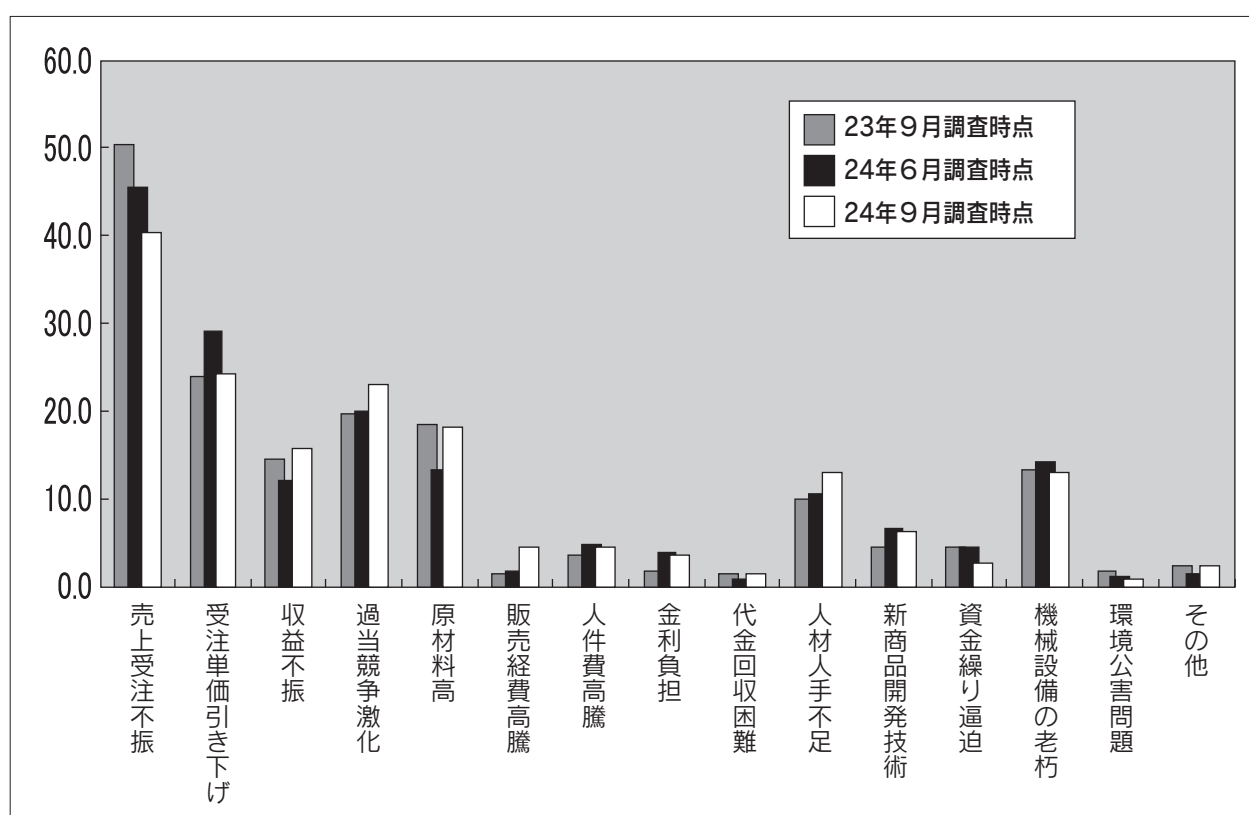


- (2) 新規採用集計は、常用雇用・臨時雇用合算で集計している。集計を見ると、全産業の17.7%が新規採用を行った。前年同期と比較しても3.6ポイント減少している。  
先行きについても、ポイントは減少しており、25年1~3月期は8.5ポイントの予想である。

## IX. 当面の経営上の問題点

(%：複数回答あり)

	23年9月 (前年同期)	24年6月 (前回)	24年9月 (今回)	前回比増減		
				(うち製造業)	(うち非製造業)	
売上受注不振	50.5	45.6	40.5	(45.8)	(36.2)	-5.1
受注単価引き下げ	23.8	29.2	24.1	(29.0)	(20.2)	-5.1
収益不振	14.4	12.1	15.6	(17.6)	(14.1)	3.5
過当競争激化	19.7	20.1	23.1	(14.5)	(30.1)	3.0
原材料高	18.5	13.4	18.0	(19.8)	(16.6)	4.6
販売経費高騰	1.3	1.7	4.4	(2.3)	(6.1)	2.7
人件費高騰	3.4	4.7	4.4	(2.3)	(6.1)	-0.3
金利負担	1.6	3.7	3.4	(2.3)	(4.3)	-0.3
代金回収困難	1.3	0.7	1.4	(0.8)	(1.8)	0.7
人材人手不足	10.0	10.4	12.9	(9.2)	(16.0)	2.5
新商品開発技術	4.4	6.7	6.5	(13.0)	(1.2)	-0.2
資金繰り逼迫	4.4	4.4	2.7	(2.3)	(3.1)	-1.7
機械設備の老朽	13.2	14.1	12.9	(14.5)	(11.7)	-1.2
環境公害問題	1.6	1.0	0.7	(0.8)	(0.6)	-0.3
その他	2.2	1.3	2.4	(0.8)	(3.7)	1.1



- (1) 今回の調査の全産業での当面の経営上の問題点をみると、①売上受注不振40.5%(前期比▲5.1ポイント)、②受注単価引下げ24.1%(前期比▲5.1ポイント)、③過当競争激化23.1%(前期比+3.0ポイント)の順になっている。
- (2) 前期より、ポイントが増加したのは、「原材料高」4.6ポイント増加、「収益不振」3.5ポイント増加した。「過当競争激化」3.0ポイント増加であった。
- (3) 問題点の「過当競争激化」が高い業種は、「百貨店スーパー小売」「自動車販売」「鋼材建材販売」と非製造業が多い。「原材料高」では、「プラスチック」「医薬品製造」「卸売業」が高いポイントとなっている。

## X. 為替変動に対する影響

		見込				予測 (%)
項	目	24年1～3月	24年4～6月	24年7～9月	24年10～12月	25年1～3月
売上高	好転	0.4	0.0	0.4	0.8	0.4
	悪化	7.5	7.8	8.5	7.8	7.8
	影響なし	92.2	92.2	91.1	91.4	91.8
仕入高	好転	1.9	2.0	1.6	1.7	1.2
	悪化	8.7	5.9	5.7	4.9	5.3
	影響なし	89.4	92.2	92.7	93.4	93.5
営業利益	好転	1.5	0.4	0.8	0.8	0.8
	悪化	9.8	8.2	8.5	9.0	8.6
	影響なし	88.7	91.4	90.7	90.2	90.6

- (1) 見込、予測については、前期に比べた予想について回答を求めた。  
 今回247社からの回答があり、7～9月では、売上高については8.9%から影響があると回答があった。売上高が悪化したとの回答は8.5%で、0.4%が好転との回答であった。
- (2) 仕入高については、7.3%が影響ありと回答。うち5.7%が悪化したと回答であった。  
 好転したとの回答は、1.6%となり、前期より減少した。営業利益では、9.3%が影響があるとし、8.5%が悪化したと回答している。
- (3) 先行きについては、売上高が悪化するとのポイントは減少予想となっている。  
 仕入高に対しても、悪化予想のポイントは減少している。  
 営業利益は横ばいの回答であった。